

1. アジア地域ガイドライン改定に関する投票結果

アジア年央会議の初日の2月26日に、会議の出席者全員が見守るなかで開票が行われました。

開票結果は、次の通りです

投票総数：322票（内27票は、締切時間以降の到着で無効）

開票総数：295票（内12票は無効）

賛成投票：258票 反対投票：25票

開票総数に対する賛成率： $258/295 = 87\%$

投票権を持つクラブ数に対する賛成率： $258/363 = 71\%$

ガイドライン改定に必要な3分の2以上の賛成で、可決されました。

Region	Good Standing 投票権有りのクラブ数	Favor 賛成	Opposed 反対	Invalid 無効	Total Responding Clubs投票クラブ数	Late Arrival 到着遅延
Korea Center	39	19	17	1	37	6
West	19	18			18	2
East	39	38	1		39	5
South	61	57		2	59	3
Chonbuk	22	18		4	22	1
Japan East	61	42	2		44	3
West	80	52		3	55	3
Taiwan	18	9	1		10	1
Philippine	4	2	0	2	4	0
SEA	12	3	1		4	1
Sri Lanka	8		3		3	2
TOTAL	363	258	25	12	295	27

この開票結果を踏まえて、両エリアは特別準備委員会を組織して、具体的な問題の検討に入ります。

この夏横浜で開催される国際議会で承認された場合は、両エリアの次期エリア会長と次期国際議員の選挙を行い、2011 - 2012年度から新エリアの活動が始まることとなります。

2. 2010 - 2011 年度次期国際会長選挙の投票結果

国際選挙結果について、2月25日付で国際書記長から報告がありました。

選挙結果は、次の通りです。

2010 - 2011 年度次期国際会長に、ノルウェーのフィン・ペデルセン氏が選出されました。

- ・ 投票数は646票で、全クラブ数に対する投票率は39%と低調でした。
- ・ 東日本区の投票率は、70.8%でデンマーク区に次いで世界第2位の投票率でした。

3. 2010 - 2011 年度から始まるUGPについて

国際年央会議においてケビン国際会長は、次の5年間国際協会としてロール・バック・マラリア(RBM)プロジェクトを推進することの是非を国際議員の投票にかけることを提案し、出席者の賛同を得ました。直ちにメールによる国際議員の投票が行われ、21名中20名の賛成で承認されました。

昨年度展開されたRBMプロジェクトは、目標を上回る18万3千スイスフランの募金が集まり国際赤十字連盟(IFRC)との協力関係で、アフリカ・シエラレオネのRBM活動へ贈られました。今後も国際赤十字連盟(IFRC)との協力関係を維持しながら、プロジェクトを推進する予定です。